

日本共産党杉並区議会議員

週刊

こんにちは 山田耕平 です

2021.7.15 No.416

このニュースへのご感想
ご意見をお寄せください!

杉並区善福寺 2-2-1 1
TEL 090-9973-0941
ホームページ
<http://yamadakohei.jp>

感染症と熱中症の危険から子ども達を守ろう 子どものオリンピック動員 中止が決定



子ども達を守る対応を 2度に亘り申し入れ

7月9日、東京オリンピックに児童生徒を動員する学校連携観戦について、東京都教育委員会は中止を決定しました。一方、パラリンピック観戦については、オリンピック閉会後に検討するとしています。

学校連携観戦は、密集する電車での長距離移動、競技場での長時間にわたる観戦によって、児童生徒を感染や熱中症の危険にさらすことから批判が高まり、取りやめる自治体が相次いでいます。

日本共産党杉並区議団は、第2回定例会で中止を求め一般質問(山田)、常任委員会でも中止を求めました。6月23日には申し入れを実施。感染拡大を受け7月8日にも2度目の教育長への申し入れを実施しました。教育長は、感染のリスクを認め、総合的に判断すると答えてきましたが、結局、都教委の決定に委ねる結果となりました。

オリンピック 学校連携観戦を中止した東京都自治体

7月9日16:30現在



日本共産党三鷹市議団の紫野あすか市議が作成した学校連携観戦を中止した都内自治体の地図(自治体判断による中止)。

※7月9日16:30時点。

多くの自治体が中止を決断するなか、杉並区を含めて、いくつかの自治体は、独自判断を行なっておらず、パラリンピック観戦については、今後の判断となる。

杉並区としての中止判断を

多くの自治体が、それぞれの教育委員会の責任で中止を判断したのにも関わらず、杉並区教育委員会としての判断を行なわなかったことは問題です。学校に委ねるのではなく、区教委としての責任を果たすべきです。

都教委の決定以前に、学校独自に中止を決定した小中学校は7月7日時点で28校。さらに、都教委の決定を受けて全小中学校の観戦動員は無くなりました。一方、パラリンピック観戦については中止しておらず、区教委は学校の意向を聞いて検討するとしています。

党区議団は、学校の判断に委ねるのではなく、区教委として中止を決断するよう、引き続き求めていきます。

国からの供給量が大幅減少

ワクチン供給不足 2回目接種困難者が顕在化

ワクチン接種新規予約 杉並区が一時停止に

7月14日、杉並区はワクチン接種予約について「現在、予約受付枠の空きがありません」と、新規予約の受付停止をホームページで発表しました。国からのワクチン供給が減少したことが原因です。政府は期日を指定するばかりで、ワクチン供給量の見通しを明らかにしてこなかったため、現場への大きな混乱が広がっています。菅政権の責任が厳しく問われます。

新規予約の停止により、問題になるのが「2回目接種困難者」が発生することです。党区議団には、1回目接種を完了した高齢者から、2回目の予約が出来ないとの相談が相次いで寄せられており、6週間後までに2回目の接種が困難となる高齢者が既に発生しています。杉並区はこの間、ワクチン接種の予約方法について、当初は1回目接種後でなければ2回目の予約が行なえなかったところを、1度で2回目の予約が行なえるよう変更しました。その際、1回目の予約しか取れていない高齢者へのサポートを行なわないうまま、高齢者以外の予約開始を前倒ししました。

現在、予約受付枠の空きがありません（キャンセル分を除く）
本日7月14日より、40歳～59歳の方の接種受け付けを開始しましたが、午後2時現在、予定している全ての予約枠が埋まり、新規の予約受け付けができません（キャンセルが出た場合には、数件、予約枠ができることはあります）。
これは、国から供給されるべきワクチン量が大幅に減少し、当初予定の予約枠を制限せざるを得なくなったことによるものです（ワクチン供給の状況等については、追って掲載します）。
今後の予約については、国からのワクチン供給量が明らかになり次第、ホームページ等でお知らせします。

杉並区ホームページに掲載された記事。

その結果、高齢者で、2回目の予約が取れていない方が取り残されてしまいました。予約サポートを怠った区の責任が問われます。
問題を解決し、安全・迅速なワクチン接種の実現に向け、区に対して改善を強く求めます。

今週のコマ

異常気象…巨大な氷が降る

連日、ゲリラ豪雨が続いています。これまで経験したことのないような気象状況です。近隣の水害多発地域についても、短時間・局地的な集中豪雨により道路冠水が発生しています。新たな水害対策が必要です。

さらに、7月11日（日）には、雷と共に雹が降りました。しかも、3センチ程度の巨大な氷の塊が次々と降ってきました。

我々の身近でも異常な現象が発生しており、気候変動対策が急務であることを痛感します。



3センチ程度の小石ほどもある氷が次々と降ってきた。

コロナ禍なのに…国保料20年連続値上げ

国保料 値上げ通知を発送 2千件近い問い合わせ…

6月15日、今年度の国民健康保険料の通知が国保加入世帯に一齐に発送されました。

この通知に対し、区民からの問い合わせが、来庁・電話あわせて8日間で1885件に上ったことが明らかになりました。

問い合わせのなかで多かったものが「一昨年と昨年で大きく収入の増減が無いのに、なぜ保険料が上がるのか」というものだったと区は説明しています。

国保料引き下げに向けて全力

党区議団には、「助けてください。国民健康保険料が払えません」との切実な声が届いています。

税や保険料のなかでも、国保料の値上げは異常であり、保険料値上げは20年連続となりました。年収300万円、40歳以上3人家族の世帯では、年額37万7千円、収入の13%が国保料となります。住民税、国民年金保険料をあわせると年額84万4千円となります。保険料が家計に重大な負担を押し付けています。

党区議団は、国会議員団・都議団とも連携し、国保料の引き下げを目指して全力を尽くします。